

徳島小松島港の機能継続のための対応指針・活動指針
[港湾BCP（徳島小松島港）]

【概要版】



平成26年3月

国土交通省四国地方整備局
徳島県

1. 港湾BCP（徳島小松島港）の目的

背景

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の規模の地震とそれにともなう大津波により、港湾施設においては岸壁等の損傷、ヤード・臨港道路等の液状化、荷役機械の損傷、航路・泊地の被災等の物的被害のほか、各関係機関の被災により長期に渡り港湾機能が低下し我が国におけるサプライチェーンが停滞するなど、社会的・経済的に大きな影響をもたらしました。

さらに徳島県に影響のある南海トラフを震源とするマグニチュード8～9クラスの地震発生確率が「今後30年以内に70%程度」とされるなど、切迫度は徐々に高まっています。

目的

港湾活動は、多様な主体のネットワークが機能することにより、正常に活動が行われるものであり、地震・津波等の大規模災害時における港湾の機能復旧のためには、岸壁等の港湾施設の応急復旧のほか連携体制の構築が必要となります。

このため、徳島県の港湾では、港湾施設や堤防等の地震・津波対策を進めるとともに、災害時にも最低限の物流機能を維持させるための計画策定を推進しています。

■コラム

東日本大震災以降の国・県の取り組み

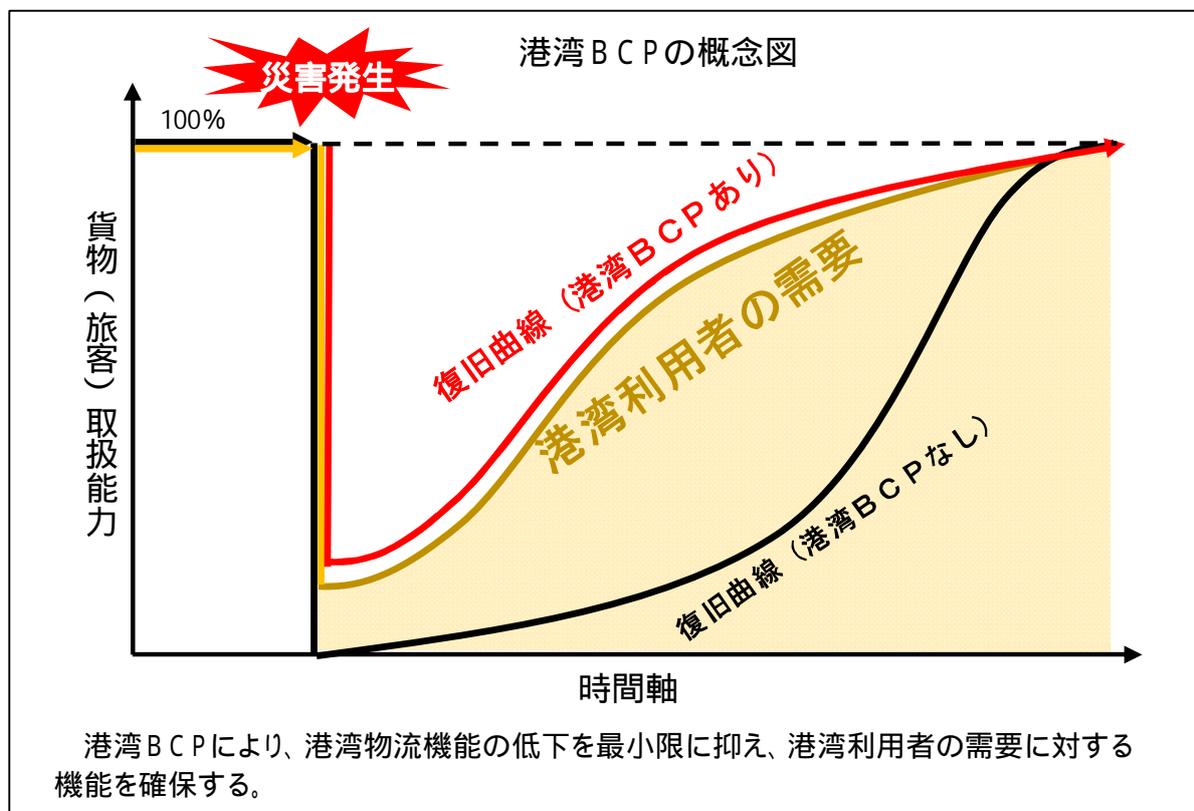


岩手県宮古市提供

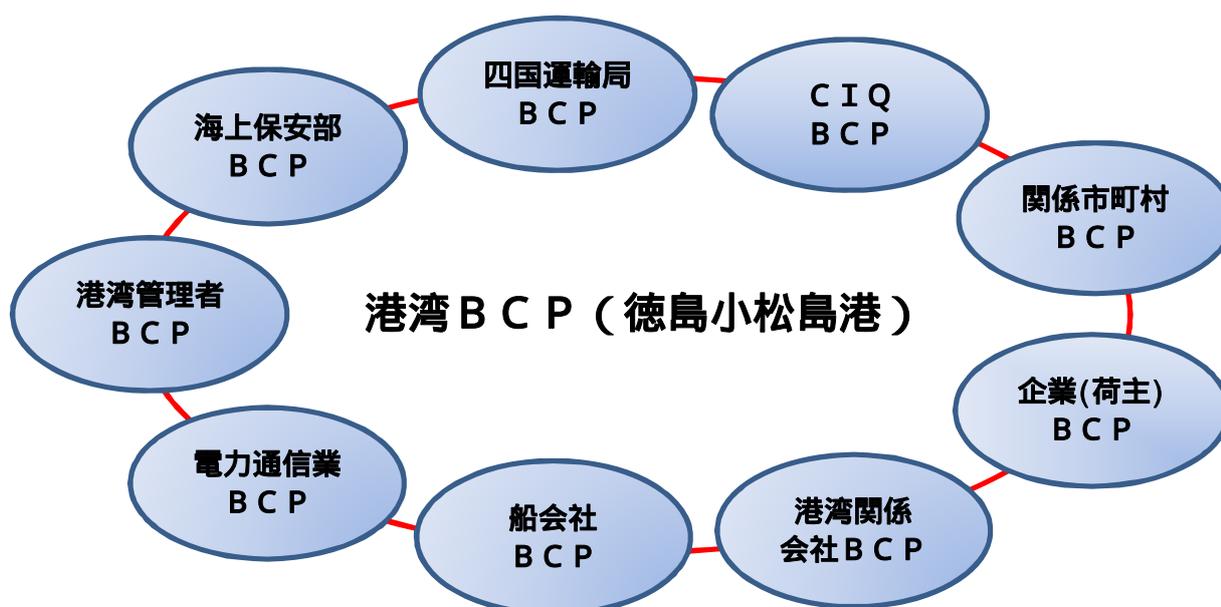
- 東日本大震災による甚大な津波被害が発生
- 新しい津波対策の考え方
(H23.6 内閣府)
- 南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等
(H24.8 内閣府)
- 徳島県津波浸水想定
(H24.10 徳島県)
- 徳島県設計津波の水位
(H25.3 徳島県)
- 津波に対する水門・陸閘等の操作指針
(H25.3 徳島県)
- 防災・減災の推進に向けた水防法の改正
(H25.6 国土交通省) など
- 徳島小松島港の機能継続のための対応指針・活動指針
(H26.3 国土交通省、徳島県)

港湾BCP

地震・津波等の大規模災害などが発生しても、港湾物流機能の低下を最小限に抑えるよう、「災害時の対応」や「平時の取り組み」について、港湾関係者が合意し策定した計画のことです。



将来的に目指す連携協働体制構築のイメージ



コラム

BCP : Business Continuity Plan (事業継続計画)

不測の事態が発生しても、重要な業務を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順、リスク等の分析の結果等を示した文書のことです。

2. 港湾BCP（徳島小松島港）の骨子

構成と役割

- 港湾BCP（徳島小松島港）は、大規模災害時における下記活動の方向性、関係者間で共有すべき必要最小限の事項について、下記の構成で取りまとめたものです。

○被災施設応急復旧活動

- ・ 被災状況の点検、応急復旧工法の決定
- ・ 啓開活動、応急復旧活動に必要な資機材の情報収集・調達
- ・ 水域、陸域の啓開実施
- ・ 救援物資輸送等の迅速な実施のための必要最小限度の応急復旧実施（道路等の交通インフラ被災を想定）
（津波による貨物等の流出発生を防ぐ事前減災対策が必要）

○救援物資輸送活動

- ・ 避難所等への迅速な物資の輸送活動

○人の海上輸送活動

- ・ 被災施設応急復旧活動等における活動要員の現場・事務所等への迅速な移動

○企業物流継続活動

- ・ 港湾閉鎖の長期化を避け、可及的速やかな企業物流の再開に向けた活動

- 港湾BCP（徳島小松島港）の構成は、下記のとおりです。
 - ・ 対応指針：目的、柱となる各種活動の目標についての大枠を示します。
 - ・ 活動指針：各種活動を構成する個々の具体的な対処行動とその時間目標、各関係者に期待される役割等について詳細に示したものです。
- 施設の復旧は、本復旧に先立つ応急復旧までを対象とします。
 - ・ 時間目標：救援物資輸送活動、企業物流継続活動等の目標時間に合わせ、徳島小松島港の各施設において被災施設の応急復旧を実現することを目標として設定します。

防災業務計画・地域防災計画との関係

港湾BCP（徳島小松島港）で示す活動は、徳島県広域防災活動計画や地域防災計画を基に、徳島小松島港の各港湾関係者の立場にたって、関係者が実施すべき内容を現時点の案として具体化したものです。

被害想定

港湾BCP（徳島小松島港）は、発生頻度の高い津波（L1津波）の被災想定に様々な要素を追加し検討を行います。

PDCA (計画・実施・評価・改善) 手法の適用

港湾BCP (徳島小松島港) は、目的を考慮し時間目標等を設定したものです。このため、PDCAサイクルによる今後の改善の中で、実行可能性を高めるものとします。

Plan

「港湾BCP (徳島小松島港)」の策定

発災時における活動フロー

発災

災害時の体制設置

参集 情報連絡体制の確保

応急復旧活動

応急復旧方策の決定

被災状況の確認 (施設・荷役機械等)
活用可能な施設、資機材を把握
応急復旧作業目標を設定

応急復旧の実施

要員、資機材の調達
水域・陸域の啓開
施設の応急復旧

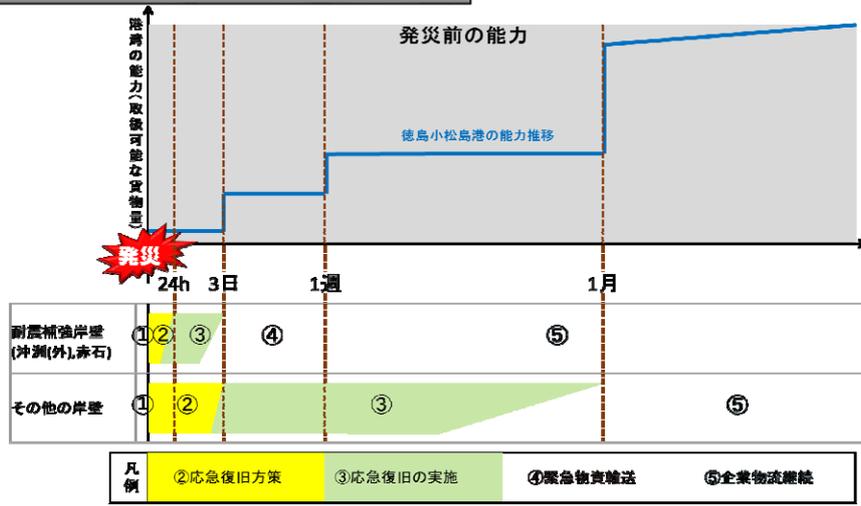
救援物資輸送活動

耐震強化岸壁における救援物資輸送船の受け入れ準備
救援物資輸送船の着岸と荷役作業等の実施

企業物流継続活動

荷役体制の構築
貨物船の航行支援体制の構築
港湾の運用が円滑に行われるような体制の構築

徳島小松島港の機能回復イメージ



Act

・港湾BCP改訂の
必要性を検討

Check

・訓練結果の検証
・他の港湾BCPとの
整合性の検証

Do

・訓練の実施
・応援協定等の締結



訓練状況

各種活動の基本対応パターン

